



静岡市 いきもの 散歩マップ

清水船越堤公園コース

しょくぶつ

- オオジシバリ**

 5月に黄色の花を咲かせます。名前は「地面を縛る」という意味で、軟かい茎を枝分かれさせて地面をはうように広がります。
- ササユリ**

 山地の原っぱや、日当たりの良い林の中に生えています。6月にうすい桃色や白い花を咲かせます。
- ニオイタチツボスミレ**

 よく見られるスミレの仲間、葉は丸みのあるハート型で、花はうすい青紫色です。
- キンモクセイ**

 モクセイの仲間の園芸種で、常緑の小高木樹です。9～10月にオレンジ色の小さな花を多数咲かせます。
- シロバナタンポポ**

 西日本に多い在来のタンポポの仲間、3～5月に白い花を咲かせます。静岡県では海岸付近や丘陵、台地に生えています。
- ヒガンバナ**

 秋のお彼岸の頃に赤い花を咲かせます。花が枯れた後に出る細長い葉は冬の間だけ見られます。全体に毒があります。
- ツボスミレ**

 スミレの仲間、4～5月に白い花を咲かせます。平地から山地にかけて生えています。
- ツルウメモドキ**

 秋になると赤い実とそれを包む黄色の皮が目立つ、つる性の植物です。赤い実はヒヨドリやツグミ、シヨウビタキの餌になります。
- セイヨウタンポポ**

 ヨーロッパから日本に渡ってきたタンポポです。春に黄色い花を咲かせます。市街地や公園に広く生えています。
- スイセン**

 ヒガンバナの仲間の園芸種で、南ヨーロッパ～北アフリカが原産です。11～2月に花を咲かせます。
- コバナタツナミソウ**

 シソの仲間、4～6月に青紫やピンク色のたくさん花を咲かせます。海岸近くや丘陵地に生えています。
- ヤマツツジ**

 ツツジの仲間、4～5月に淡赤色の花を咲かせます。主に山地の林の中や林縁に生えています。
- ニガナ**

 キクの仲間、道ばたや畑、人家の庭先、河原などに生えています。5～7月に黄色の花を咲かせます。
- ツリガネニンジン**

 キキョウの仲間です。道ばたに生えています。8～10月に青紫色の花を咲かせます。若芽はトクキといい、食用になります。
- ミソソバ**

 タデの仲間、川の岸辺や田んぼのあぜに生えています。8～10月に淡い紅色の花を咲かせます。
- スイレン**

 いくつかの野生種から品種改良された園芸種で、池や沼の水面に白い花を咲かせます。花は6～10月に見られます。

アクセス情報



- 【バスでのアクセス】
1. しずかつバス清水駅前バスターミナル1番乗場より「船越堤公園線」に乗り。
 2. 「船越堤公園」にて下車（清水駅より約16分）。

緊急連絡先

- ・静岡県救急医療情報センター TEL&FAX: 0800-222-1199 (休日・夜間当番医を教えてください。24時間対応)
- ・消防 119番
- ・警察 110番

注意事項

- ・ハイキングでの安全は自己責任をお願いします。季節に合わせた服装、水や食料の準備、緊急時の連絡先の確認など、準備をしっかりとっておきましょう。
- ・里山には、ハチ、ヘビやヒルなどの危険な動物もくらしています。出会ってしまったら、刺激しないよう注意し、ゆっくりその場をはなれてください。
- ・コースの中には私有地が含まれる場合があります。果樹、花や山菜などを無断で取らないでください。
- ・動物も植物も、たくさんあるからといって、むやみにとるのはやめましょう。また、他の土地から動植物を持ち込まないようにしてください。

制作：NPO法人 静岡県自然史博物館ネットワーク
 発行者：静岡市環境創造課
 〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号
 TEL: 054-221-1357 FAX: 054-205-2666
 制作年：平成27年2月

とり・どうぶつ

- シジュウカラ**

 全長15cmくらいで、背と頭のほかに胸のまん中も黒くなります。山地から里や人家のまわりに1年中見られます。
- オオルリ(若,オス)**

 全長17cmくらいで、繁殖のため、春に東日本に渡ってきます。山地から里や人家のまわりを含む光沢のある青色をしています。
- コゲラ**

 全長15cmくらいの小型のキツツキで、「ギー、ギー」と鳴きます。木の皮の下の虫をついて食べます。
- タヌキ**

 中型の哺乳類で、足が短く、ずんぐりした体つきです。雑食性で、小動物や果実などを食べます。
- ヤマガラ**

 全長13～15cmくらいで、背と腹がレンガ色をしています。「ツツビー、ツツビー」と鳴きます。
- ヒレンジャク**

 全長17cmくらいで、尾の先が赤色をしています。冬鳥として、群れて飛来することが多く、クロガネモチなどの実のなる木に集まります。
- ヒヨドリ**

 全長28cmくらいで、全身が灰褐色、長めの尾を持っています。低地から山地の林や、市街地でも1年中見られます。
- ヒガシニホトカゲ**

 山地から低地の日当たりのよいところに生息し、小さな虫やクモなどを餌にします。幼体は青色、成体は褐色です。
- ジョウビタキ(メス)**

 全長14cmくらいで、翼は黒褐色でまん中あたりは白い斑紋があります。本州では冬に見られます。
- ウソ**

 山地にすみ、春先にサクラやウメの花芽を好んで食べます。「フィッフィツ」と口笛のように鳴きます。
- カワセミ**

 静岡市の鳥です。スズメより少し大きく、あざやかな水色をしています。水中に飛び込んで、魚をとって食べます。
- ニホンカナヘビ**

 全長20cmくらいで、山地から人家のまわりですんでいるのでよく見かけられます。小さな虫やクモなどを餌にします。
- ルリビタキ**

 全長13～15cmくらいで、オスは尾と、頭から背中が青色をしています。冬に人里で見かけることがあります。
- メジロ**

 全長12cmくらいで、からだの上面はやや暗めの黄緑色で、眼のまわりは白色、胸は黄色になります。
- キンクロハジロ(オス)**

 冬鳥として渡来するカモの仲間、池、河口、内湾などで見られます。頭の後ろに垂れ下がる冠毛が特徴です。
- ウシガエル** 特定外来生物

 体長20cmにもなる外来種のカエルで、池や沼、湿地に住んでいます。「プープー」と牛に似た声で鳴きます。

むし

- クロコノマチョウ**

 大型のジャノメチョウの仲間、暗い雑木林の中において、はねの裏面は枯葉に似ています。初夏から秋に見られ、成虫で越冬します。
- アサヒナカワトンボ**

 体長4cmくらいの、金緑色で細い脚をもつトンボです。オスは、はねが橙色のものと透明なものがあります。
- ルリタテハ**

 中型のタテハチョウの仲間、青色の帯が目立ちます。雑木林に生息し、公園や住宅地ではよくホトギスの花に集まります。
- ミヤマアカネ**

 アカトンボの仲間、はねにある濃茶色の帯が特徴です。主に山地にすみ、6～11月に見られます。
- ノコギリカミキリ**

 体長3～5cmくらいで、がっしりとしたカミキリムシです。名前は、ノコギリの歯のようにギザギザしている触角に由来します。
- ウチワヤンマ**

 はねを広げると10cmくらいで、おしりの近くにうちわ型の突起があります。成虫は5～9月に見られます。
- ミドリカミキリ**

 体長2cmくらいになる中型で、長い足を持ち、緑色にカカヤクカミキリムシです。雑木林のまわりですんでいます。
- ハラビロカミキリ**

 体長4～7cmくらいのカミキリの仲間、腹部が太めに見えます。前脚の基部に黄色の突起があります。

メモ

しずおか みんなの しぜんたんけんてちょう

しぜんたんけんてちょう

静岡市が運営するウェブサイト「しぜんたんけんてちょう」では、皆さんが発見した動物・植物・昆虫の発見情報を1つの地図に落とし込んでいき、共有しています。ハイキングで見つけた生き物は、写真を撮ってぜひ発見情報を投稿ください!!(ウェブサイト内に投稿ページがありますので、そちらから情報をご提供ください)

